



「思いがけない通り」
〜出逢いが人生を変えることがある〜

校長 橋口 克朗

たしか七年ぐらい前に、ある講演会で聞いた話です。講師は、元NHKアナウンサーである吉川精一さんです。その中で吉川さんは、次のようなことを話されました。人生には、3つの通りがある。一つは、「思い通り」。これは、順風満帆、特に悩みや苦労もなく、自分の思った通りの人生。二つ目は、「思い不通り」。自分の思うとおりにいかず、苦労や我慢が多い人生。こんな時、吉川さんは心で泣いていても、顔で笑って、そこを通過してきたそうです。そして、三番目の通り。皆さんどんな通りだと思いますか。それは、「思いがけない通り」なんだそうです。

「思いがけない通り」：生きていく中で、ある人との出逢いが、その人の人生に大きく影響することがあるとのこと。吉川さんはその出逢いという話の中で、相田みつをさんの「そのときの出逢いが、人生を根底から変えることがある。よき出逢いを」という詩を紹介しながら、鍵山さん（トイレ掃除の大切さを提唱された方）との出逢いから学んだことを熱く話されました。私は、吉川さんのお話を聞きながら、長い人生の中での人との出逢いの大切さや、「凡事徹底」（大事なことは小さな事でもコツコツ続けること）の大切さを改めて心に思うことでした。

私は、小学校から高校まで三人の先生方との出逢いがありました。いずれも最終学年のときの担任の先生です。そして、いざ学校の数・数学の先生でした。私は、将来学校の先生になりたいと決めていたのですが、何の教科の先生になるか迷っていたんです。今思うと、自分の進む道を考える上で、受け持たれた先生の影響がとても大きかったように思います。もし、あの時の先生が国語の先生だったら、その後の私の人生も変わっていたかもしれません。学校の先生も、保護者の方々の出逢いがありました。

一人一人の生徒においても、吉川さんの言われた「思いがけない通り」にならざるを得ない出逢いが、日々のなにか学校生活の中からたくさん生まれることを望んでやみません。そして、トイレ掃除のように凡事徹底、コツコツと努力する心の優しい生徒が育ってくれることを祈っています。

早いもので、もう二月の立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きそうです。今朝も、家を出て学校までの間、「北風吹き抜く、寒い朝は、心一つで暖かくなる」と吉永小百合さんの歌「寒い朝」を口ずさみながら登校しました。春が待ち遠しい今日このごろです。

貴重な経験になりました、職場学習(2年)
各事業所における生徒の活動の評価は頑張りを感じる記述が多いでした。

一月二十一日(火)〜二十五日(金)において、市内58事業所のご協力で、本校2年生全員が、職場体験学習をさせていただきました。各職場におかれましては、通常業務でご多用な中、本校生徒を引き受けてくださり、誠にありがとうございました。生徒は「働くことのねらいや意義」についてじっくり考える大変よい機会となりました。体験から学んだことを今後の「自分の生き方」に生かしていくことでしょう。

【体験場所での写真(一部紹介)】



鹿児島市のよさを再発見、をまを探訪(1年)

「灯台下暗し」という言葉があります。灯台の真下が暗いように、身近なことがかえって気づきにくいことのとえで使われます。私たちは、明治維新の香りのするところで生活していますが、このような機会でないところ、実際にその場を訪れることはないようです。

一月二十五日(金)、1年生が市内の史跡や名所を巡る「ふるさと探訪」を行いました。全員を6コースに分けて、30名の「かごしまボランティアガイド」の皆様に案内していただきました。偶然にも、1年生が「鹿児島島ぶらりまち歩き」の一人の記念に立合うことになりました。テレビや新聞でも報道されました。

※ 〇仙巖園コース 〇南州神社コース 〇城山コース 〇城めぐりコース 〇天文館コース 〇加治屋町コース



私立高校の入試終わる!

一月二十五日〜三十日にかけて、私立高校一般入試がありました。

3年生が受験した私立高校(14校)

- 鹿児島高校・樟南高校・鹿児島実業高校
- 鹿児島城西高校・鹿児島純心女子高校・神村学園
- 鹿児島情報高校・育英館・修学館・志学館・県外
- 出水中央高校・鹿児島第一高校・鳳凰高校

公立高校入試の日程

- 二月五日(火) 公立高校推薦入試
- 三月六日(水) 公立高校入試(国・理・英)
- 三月七日(木) 公立高校入試(社・教・面接)
- 三月十四日(木) 合格発表

『耐雪梅花麗』

「雪に耐えて、梅花麗し」
冬にじっと我慢し、自分の花を咲かせよう!



